マイ ゴー　シーティングシステム　取扱説明書

「マイ ゴー シーティングシステム」は、お子様の日常生活や移動性の実現と共に、すぐれた姿勢保持機能をを提供するために設計されています。

この取扱説明書は、本製品の様々な機能の簡便、そして安全な使用方法をご説明するものです。安全と機器の保全に基づいたこれらの説明をご理解いただくことで、本製品を快適にご使用いただくことができます。

目次

01 使用目的

マイ ゴー　シーティングシステムは障害をお持ちの 4 歳から 12 歳くらいまでのお子様が、ご家庭や学校などでの様々な活動に使用する座位保持装置として設計されています。この製品の耐荷重は 50kg です。この製品は、モジュラー機能をもっており、ベースフレームとの組み合わせて、屋外・屋内の両方で使用することができます。「ハイ/ロー ベース」、および「スタンダードベース」は屋内用ですが、屋外でも、平らで滑らかな地面で使用することができます。※金属性のパーツを使用していますので、金属が錆びるような環境でのご使用はお控えください。

02 本製品の安全規格について

本製品の製造元である James Leckey Design Ltd.は、「マイ ゴー　シーティングシステム」が 93/42/EEC 規格、及び福祉用具規格 EN12182 の規格に準拠していることを宣言します。

03 保証期間について

本製品の保証は、本製品がメーカーの推奨する使用環境、および使用目的に沿って使用された場合のみに適用されます。

04 製品の履歴・記録について

本製品は医療機器 Class1 に分類されており、製品のセットアップや再利用は、製品トレーニングを受けた技術者によって行なってください。全てのセットアップの状況や、再利用や定期点検の記録を作成することを推奨します。

05 製品の取扱に関するご説明について

本製品は医療機器 Class1 に分類されており、保護者や介助に関わるスタッフは、下記の項目に関して技術者により、取扱に関する説明を受けることを推奨します。

>06 安全にご使用いただくために
>11 日常生活での調整について
>12 製品のお手入れの方法について
>13 製品の日常点検について

06 安全にご使用いただくために

1. ご使用の前には、常に本取扱説明書をお読みください。
2. 本製品ご使用中は、ご利用者(お子様)を一人にしないでください。
3. 本製品には、LECKEY 社の認定した製品のみを使用してください。どのような場合でも、決して本製品を改造しないで下さい。取扱説明書に従わずに使用すると、ユーザーや介助者に危険が及ぶだけでなく、製品保証が適用されなくなる恐れがあります。
4. 本製品の安全なご使用に関して不明な点があったり、部品が破損した場合は、速やかに製品の使用を中止し、本製品を購入された販売店にご相談ください。
5. ご利用者（お子様）を本製品に乗せる前に、必要な適合調整を行い、各調整箇所が確実に固定されていることを確認してください。幾つかの調整には、付属の工具が必要な場合があります。工具は、お子様の手の届かないところで保管してください。
6. ご利用者（お子様）を本製品に座らせるときには、安全性と姿勢保持の両方の理由により、常に、まず初めに骨盤ハーネスを固定してください。

7. 本製品を静止した状態で使用する際、より高い安定性をえる為に、全てのキャスターが外側に向かって固定されていることを確認してください。特に、チルティングやリクライニングの機能を使用する際に重要です。
8. 本製品を「ハイ/ローベース」上で使用する際は、他のお子様が不意に操作しないように、高さ調整用のペダルとチルト調整用のレバーに安全ロックがかかっていることを確認してください。本製品を「ハイ/ローベース」上で使用する際は、他のお子様が不意に操作しないように、高さ調整用のレバーとチルト調整用のレバーに安全ロックがかかっていることを確認してください。
9. 本製品を「ハイ/ローベース」または「スタンダードベース」で使用する際には、ご利用者（お子様）をシートに乗せたままで荒い路面を移動しないで下さい。ご利用者（お子様）を本製品に乗せているときも乗せていないときも、移動の際には細心の注意をはらってください。
10. 5°以上の傾斜のあるところで、本製品を放置しないで下さい。常に全てのキャスターにロックをかけてください。
11. 本製品を移動する際には、常にプッシュバーを利用してください。トレイをハンドルの利用して移動させないで下さい。
12. 本製品には、小さなお子様の喉を締め付ける恐れのある部品を含んでいます。お子様の手の届く範囲にあるボルトやレバー類が、しっかりと締められ（固定され）ていることを常に確認してください。
13. 本製品は、EN12182 規格に沿った難燃性を備えていますが、本製品には樹脂性パーツが多く使用されているため、火やタバコ、暖房器具などの熱源から常に離してご使用ください。
14. トレイの上には、40℃を越える熱いものを置かないで下さい。
15. 常に製品を清潔に保ってください。研磨剤を含んだクリーナーを使用しないで下さい。製品を安心してご使用いただくために、定期的にメンテナンスを行なってください。
16. 本製品は室内使用のために設計されています。使用されない際には、湿気のない、常温のところで保管してください。安全にご使用いただける温度範囲は、5℃～40℃となっています。
17. 本製品を移動する場合、プッシュバーを固定するプラスチックノブ（シートの下側）が確実に締められていることを確認してください。
18. 本製品を使用する前に、シートとベースフレームの取付部分が確実に固定されていることを必ず確認してください。突然シートが外れないように、固定用ハンドルが確実にはまっていることを確認してください。固定用のハンドルが固定されていないと、シートが外れ、ご利用者（お子様）や介助者が重大な怪我を負う恐れがあります。

マイ ゴー　シーティングシステムのクラッシュテストについて

「マイ ゴー　シーティングシステム」は、自動車内で使用する際のクラッシュテストに合格しています。本テストは、試験基準内で、試験用のベースに「ヘッドレスト（クッションなし）」及び「フォームド　ヘッドレストクッション」を取り付けた状態で行なわれています。

「マイ ゴー　シーティングシステム」を自動車の中で使用する際には、下記の点を必ず守ってください。

- 「マイ ゴー　シーティングシステムを自動車で使用する際には、「Unwin Restraint System」を用いて、進行方向に向けて固定してください。また、「ヘッドレスト（クッションなし）」「フォームド　ヘッドレストクッション」を使用し、常に移動時に適したポジションに調整してください。「ヘッドレスト(クッションなし)」と「フォームド　ヘッドレストクッション」は、「マイ ゴー　シーティングシステム」のオーダーフォームに掲載されています。

- 「マイ ゴー　シーティングシステム」は、ISO16840 に準じるクラッシュテストに適合しています。また、シート部は ISO7176-8 に準じています。

- 重要
- これらのクラッシュテストは、「マイ ゴー　シーティングシステム」と取付アダプターの部分に関するものです。「マイ ゴー　シーティングシステム」をそのほかの車いす等のベースで使用する際には、各車いすメーカーのクラッシュテストに関する資料をご参照ください。

07 開封および組み立てについて

この度は、「マイ ゴー　シーティングシステム」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。開梱時に、箱のガムテープ等をカッターで切る際には、中の製品を傷付けないようにご注意ください。パーツ類は、製品ラベルが付いたポリエチレン製の袋に梱包されています。それらを箱から取り出し、ご注文の品物が全て揃っていることをご確認ください。
※安全のために、ポリエチレン製の袋はお子様の手の届かないところにおいてください。

幾つかのパーツは、シートユニットをベースふれに取り付ける前に組み立てる必要があります。
シートユニットをベースフレームに取り付ける際には、まずシートユニットの取付アダプターがはまっていることを確認してください。

マルチツール（付属品）
組立の際に必要なマルチツールは、シートユニットに付属しているバックポーチの中に入っています。

バックレストの組立
梱包時は、バックレストは前方に折りたたまれています。バックレストを 90°に起こしながら、インナーチューブを、受け側のアウターチューブにはめてください。バックレストを起こした状態で、プラスチックハンドルを締め、バックレストを固定してください。バックレストを押したときに、バックレストが動くかどうかをみて、しっかりと固定されているかどうかを確認してください。
※安全のために、バックレストがしっかり固定されていることを常に確認してください。
※インナーチューブをアウターチューブにはめる際に、指がはさまれないように注意してください。

フットレストの取付
フットレストを取り付ける際には、シートユニットをベースフレームから取外し、座面を逆さにして座面裏側の取付部が上になるようにしてください。座面裏側にあるクイックリリースレバーを解除し（レバー横のボタンを押しながら、レバーを操作してください）、大腿支持部を最大限に広げます。フットレスト取付部の六角ボルトを緩め、内側からフットレストを差し込んでください。この時、フットプレートが座面前方になることを確認してから、再度ボルトを締めてください。
※安全のために、フットレストがしっかり固定されていることを常に確認してください。

ハイ・ローベース / スタンダードベースへの取付
取付の際の腰や背中への負担を防ぐ為、一番高い位置での取付をお勧めします。購入された各種ベースの高さ調整方法に関しては、第 11 項をご参照ください。

まず最初に、シートユニットの座面裏側にある、シートユニット取付アダプターの安全ロックを解除します。取付アダプターの前方のピンを引き、90°回して解除してください。シートユニットを丁寧に持ち上げ、ベースの取付部に置いてください。この時、シートユニットの背部分の後方下側に、ベース取付部の後側のパイプが見えます。このパイプに、取付アダプターの後の部分をしっかりと置いてください。次に、取付アダプターのハンドルを前方に引き上げ、シートを下側に押し下げてください。シートの前方がしっかり下がったら、ハンドルを放し、ベース取付部の前側のパイプに固定するように押し込んでください。最初に解除した安全ロックのピンを再度 90°回し、再度

ロックしてください。もし安全ロックのピンが取り付けアダプターのハンドルに当たって押し込めないようであれば、シートの取り付けが不完全です。再度取外し、最初からやり直してください。

※お子様をシートユニットに乗せる前に、いつも取付アダプターのハンドルがしっかりとはまっていることを確認してください。ハンドルがしっかりはまっていないと、シートユニットが緩み、ご利用者（お子様）や介助者が重大な怪我を負う恐れがあります。

プッシュハンドルの取付

プッシュハンドルは、シート下側にある 2 つの受けパイプに通して固定します。プッシュハンドルは、取付部の先端に安全ボタン（A）が付いており、取付の際にはこの安全ボタンを押して、受けパイプに通してください。この安全ボタンが受けパイプの反対側に出てくるまで、プッシュハンドルを押し込んでください。しっかりとプッシュハンドルを押し込んだ後に、下側にある、プラスチックノブ（B）を回し、プッシュハンドルを固定してください。

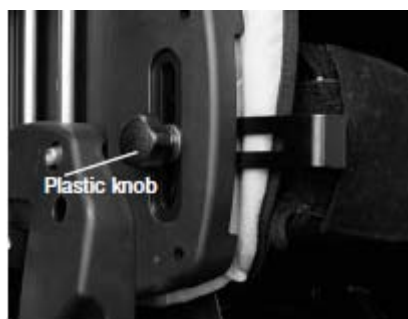
※プッシュハンドルでシートユニットを移動させる前に、プラスチックノブでプッシュハンドルがしっかりと固定されているかどうか確認してください。粗い路面やスロープで移動する際には、特に気をつけてください。

ヘッドレストの取付

レッキー社製のヘッドレストを取付ける際には、ヘッドレストの縦のパイプを、シートユニットの背面にある受け金具に差し込んでください。ご希望の位置が決まったら、プラスチックハンドル（B）

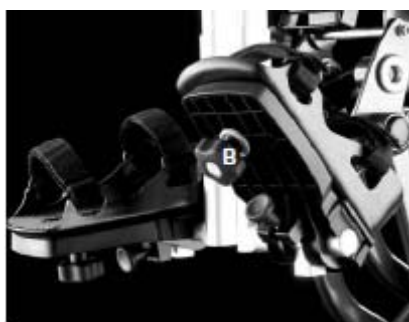
を回して、ヘッドレストを固定してください。この時、受け金具のスリット（割れ目）と、内側のスペーサー（銀色のパーツ）のスリットの位置を揃えてください。

体幹パッドの取付

体幹パッドから、プラスチックノブとワッシャーを取外します。角度調整用プラスチックワッシャー（ギザギザのパーツ）と、体幹パッド本体を、バックレスト前面にセットし、背面から、ワッシャー、プラスチックノブで固定します。

膝パッドの取付

膝パッドは、大腿部サポートの左右外側に、スナップボタンで取り付けることができます。

サンダルの取付

サンダルは、フットプレートに、左右各 1 本のボルトで固定することができます。フットプレート裏側のプラスチックノブ（B）を緩め、サンダルを希望の位置にセットしたら、再度プラスチックノブを閉めて、サンダルを固定してください。サンダルが必要ない場合は、ベルクロストラップで足部をのポジショニングを行なうこともできます。

トレイの取付

トレイの左右両側についているチューブを、左右のアームレストパッドにある穴に差し込んで、トレイをセットします。トレイをご希望の位置にセットして、固定用のノブ（A）をしっかりと締めてください。

セラピーレイルの取付

セラピーレイルの受け金具（D）を、トレイ側面にあるスリットに差込み、下側からプラスチックノブ（E）を回して固定します。反対側も同様に行ないます。その後、レイルの端部を受け金具（D）に差込、プラスチックノブ（B）で固定します。

骨盤傾斜パッド

骨盤傾斜パッドを取り付ける前に、シートカバーを取り外してください。樹脂パネルのベルクロテープが上側になるようにして、パネル左右の穴をシートカバーのスナップボタンと合わせて固定します。必要に応じて、付属のウェッジクッションを使用してください。

08 付属のバックポーチについて

バックポーチの内容

バックポーチには下記のものが含まれています。

・セッティング記録用カード
・塗り絵・色鉛筆
・取扱説明書
・マルチツール

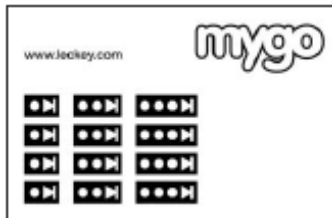
バックポーチの取付

バックポーチを取付けるには、一旦バックレストのクッションを取り外すと簡単です。バックポーチについているゴムのストラップをバックレストのプレートに背負わすように回します。体幹パッドが付いている場合は、ストラップを体幹パッドの内側に持ってきます。取り付けが終了したら、再度バックレストのクッションを取付けます。

塗り絵と色鉛筆

お子様が名前や絵をかくことができるカードと色鉛筆がセットになっています。

セッティング記録用カード

セッティング記録用カードには、バックレスト調整目盛りに貼り付けられるシールが付いています。このシールを利用して、お子様に最適なポジションや、異なる目的のポジション（角度）をマークしておくことができます。

記録カードに、シールで記録した角度がどの活動の為のものかを記録しておくことで、セラピストの方が評価したポジショニングを、学校やご家庭でも再現することができます。

※バックポーチは小さな袋なので、小さいお子様がかぶったりしないように、介助者の方は、ジッパーが常に閉じられていることを確認してください。
※本製品を使用中は、ご利用者（お子様）を一人にせず、常に介助者の方が付き添ってください。

09 パッド類の取付方法について

大腿部サポート部パッド

サイドパネルにパッドを差し込むようしてセットし、パッド後端にある 2 つのスナップボタンで固定します。左右とも同様に取り付けます。その後、前方裏側にあるゴムバンドを、大腿部サポート裏側のフックにかけて固定します。

シートパッド

まず、座面後方中央にあるスナップボタンで固定します。その後、左右各 1 個のスナップボタンで固定します。

※安全の為、お子様をシートに乗せる前に、シートパッドが確実に固定されていることを確認してください。

仙骨サポート部パッド

仙骨サポート部のパッドは、樹脂製パネルの上から差し込むようにしてセットし、スナップボタンで固定してください。

骨盤ハーネス用パッド

骨盤ハーネスの両外側にあるポケットに、ヒップガイドの金具を差し込みます。固定用のスナップボタンは 2 つあり、お子様の身体の大きさに合わせて選択します。シート両側より出ているプラスチックバックルで、シートと固定します。最後に、中央のプラスチックバックルを固定します。

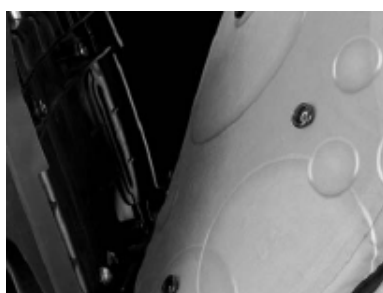
胸・肩・体幹ベルト

胸・肩・体幹ベルトには、肩部ストラップ（2 つ）・体幹部ストラップ（4 つ）・金具・ボルト・ワッシャー及びナットが付属しています。まず固定用のストラップをバックレストに取付けます。バックレストの肩の部分にはスリットがあり、そこに金具を差し込み、ご希望の高さが決まったら、ボルトとワッシャーで固定します。バックレストの両側には、側方のストラップを固定する穴（B）がありますので、体幹部ストラップ（左右各 2 つ）をここに固定します。体幹部ストラップはのスナップボタンを外すと、ストラップを簡単に少しだけ伸ばすことができます（厚手の上着を着たときなどに便利です）。

体幹パッド

体幹パッドは、クッションが内側になるように、プラスチックのベースの部分に差し込んでください。パッドの外側にある穴から、プラスチックバックルが出るようにしてください。プラスチックのベースの根元から、2 本のベルクロストラップを回してきて、外側で固定します。その後、カバーをベルクロ部分にかぶせてください。

バックレスト用パッド

体幹パッドを取付けている場合は、まず両側のパッドを一番広いポジションで固定してください。バックレストパッド下側にあるスリットに、仙骨サポートパッドを差し込んだあと、バックレストにある 4 つのスナップボタンでパッドを固定します。まず上側 2 つ（A）を固定し、それから下側の 2 つを固定します。

胸部パッド

胸部パッドを取付けるには、体幹パッドが必要です。体幹パッドについているプラスチックバックルと、胸部パッド両端のプラスチックバックルを固定します。

膝パッド

膝パッドは、大腿部サポートの左右外側に、スナップボタンで取り付けることができます。

ヘッドレスト用パッド

ヘッドレスト用パッドをヘッドレストベースに乗せ、後側の中央のスナップボタンを固定します。それから、上部 2 つのスナップボタンを固定し、下側のフラップをヘッドレスト下側から回してきて、下部 2 つのスナップボタンで固定します。

10 適合における調整方法について

適合の為の調整は、製品トレーニングを受けた臨床スタッフによって行なってください。全ての調整に関して、記録しておくことをお勧めします。

お子様をシートに座らせる前に、事前に計測した数値により、バックレスト高さ、座奥行、及びフットレスト高さを調整しておいてください。これらの調整をしておくことで、お子様がシートに座った後の調整がしやすくなります。

骨盤ハーネスとヒップガイドの調整

バックレストの後側左右にある、ボルト（C）を緩めると、お子様の座幅に合わせてヒップガイドを調整することができます。希望の位置に調整したら、再び座幅を閉めなおしてください。骨盤ハーネスの奥行きは、スナップボタン（A または B）で、2 箇所に調整できます。その後、ストラップを希望の長さに合わせて調整してください。最後に、前方のプラスチックバックルを、中央で固定してください。
本製品を屋外で使用する場合し、お子様がコートなどの上着を着用する場合、骨盤ハーネスはコートの下で固定してください。

バックレスト前後位置の調整

リンクバーにあるストッパーボタンを押してスライドさせる、バックレストの前後位置を調整することができます。この調整は、お子様が体幹を起こして座るときにも、リクライニングを使用して座るときにも、お子様の身体にマイ ゴーを合わせるために、非常に重要です。
ストッパーボタンの位置を変えることで、バックレスト前後位置が 3 段階で調整が可能です。

-調整の目安-
ポジション A ⇒ 4 歳～6 歳くらいまでのお子様にフィットします。
ポジション B ⇒ 7 歳～9 歳くらいまでのお子様にフィットします。
ポジション C ⇒ 10 歳～12 歳くらいまでのお子様にフィットします。

上記は大まかな目安となります。実際は、お子様の身体寸法（膝裏から臀部の最後方までの距離）を計測し、それに合わせて調整することをお勧めします。

膝裏から臀部最後方までの距離	ストッパーの位置
265mm-305mm	ポジション A
305mm-360mm	ポジション B
360mm-415mm	ポジション C

バックレスト高さの調整

バックレスト背面にある 2 本のボルトを緩めることで、バックレスト全体の高さを調整することができます。

希望の位置に調整したら、再度ボルトを締めなおしてください。バックレスト高さは、お子様が座面に座った後の方が、より正確に調整できます。
※バックレスト高さをもっとも低くしたときに、指がパーツに挟まれないように注意してください。

バックレスト角度の調整

バックレストの下方にあるプラスチックレバー（A）を緩めると、バックレストの角度を調整することができます。調整が終了したら、レバーをしっかりと締めなおしてください。
バックレストがお子様にとって適切な角度になっていることを常に確認してください。バックレスト角度は、お子様がシートに載った状態でも調整することができます。

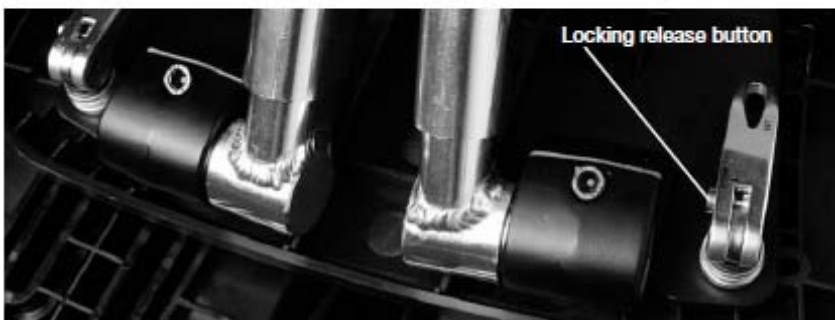
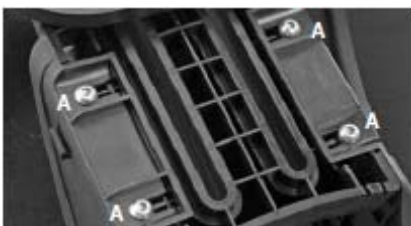
※バックレスト角度調整用のプラスチックレバーは、常にしっかりと締めてください。お子様または介助者が怪我をする恐れがあります。

角度調整のスライドパイプには、角度の目盛りが付いています。バックポーチに付属しているステッカーを利用して、必要なバックレスト角度にマークをつけておくことができます。
休息・食事・遊びや作業、といったお子様の様々な活動に合わせてマークをつけておくことで、マイ ゴーをつねに適切な状態に調整することができるようになります。

スライドパイプの角度は、座面とバックレストの角度を表示しています。
※前方への角度調整域を超えると、スライドパイプで黄・黒のストライプが表示されます。角度調整は、このストライプが見えない範囲で行なってください。

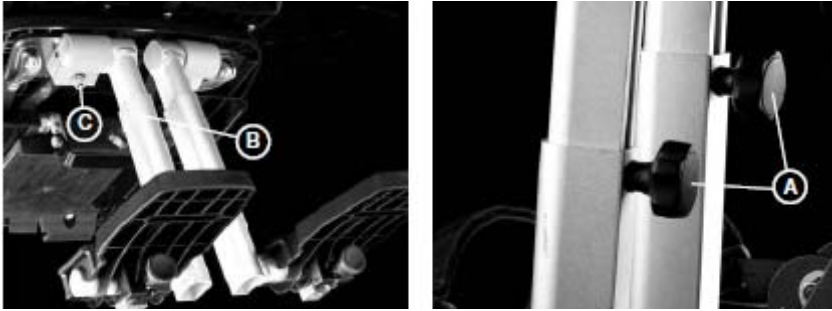
大腿支持部（座面）の調整

大腿支持部の調整は、お客様へのお届け時にはもっとも小さい状態になって梱包されています。お子様を座面に乗せる前に、座奥行の調整を行なってください（お子様を乗せた後でも、調整は可能ですが、お子様の体重により、大きな調整がしにくい場合もあります）。正しい調整を行う為に、事前にお子様の身体寸法（膝裏から臀部の最後方までの距離）を計測してください。

座面の下側左右にあるクイックリリースレバーを緩めると、大腿支持部（座面）の調整ができます。レバーを緩める際には、必ずレバーの横についているロックボタンを押して、ロックを解除してください。通常は、左右の大腿支持部を前後にスライドさせ、座奥行の調整のみを行います。ウィンドスウェプトや股関節外転での座位の場合は、状況に応じて大腿支持部を調整してください。調整が終了したら、レバーを再度倒し、大腿支持部を固定してください。このとき、ロックボタンが作動するまでレバーを倒してください。
細かい調整は、お子様を乗せた後に再度行なってください。

座面裏側のボルト（A：片側 4 箇所）を緩めると、大腿支持部の側方パッドの幅を調整することができます。調整が終了したら、再度ボルトをしっかりと締めなおしてください。

フットレストの調整

フットレストは、大腿支持部と連動して左右に分かれています。左右のフットレストの後側にある

プラスチックノブ（A）を緩めると、フットレストの高さ調整が可能です。希望の位置に調整したら、再びプラスチックノブをしっかりと締めなおしてください。
フットレストの高さをより正確に調整する為に、事前にお子様の身体寸法（膝裏からかかとまでの距離。通常靴を使用する場合は、靴を履いた状態で）を計測してください。
フットレストの高さの調整が最大になると、安全の為ロックボタンがかかります。この高さ移乗での調整はしないで下さい。

ボルト（C）を緩めると、フットレストの角度を調整することができます。希望の位置に調整したら、再びボルトをしっかりと締めなおしてください。

これらの調整は、お子様を乗せた後でも調整が可能です。

※お子様の身体が前方にずれ、ベルトやハーネスで頸部を圧迫するのを防ぐ為、フットレストのボルト・プラスチックノブがしっかり締まっていることを常に確認してください。

<u>フットプレート角度の調整</u>
フットプレート裏側にあるプラスチックノブ（A）を回転させると、お子様の足関節にあわせてフットプレートの角度調整をすることができます。

フットプレートは、移乗の際などには、簡単に上方にはねあげることができます。

骨盤・仙骨サポートパッド
骨盤・仙骨サポートパッドは、骨盤ハーネスと連動して調整できるようになっています。パッドのステイ側方にあるボルト（両側）を緩めると、骨盤・仙骨サポートパッドの高さ、前後位置、角度を調整することができます。
調整が終了したら、再度ボルトをしっかりと締めてください。

※骨盤・仙骨サポートパッドの調整時は、指を挟まないように注意してください。

体幹パッドの調整

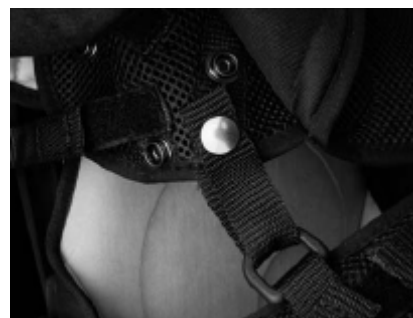
バックサポート後側にあるプラスチックの部（A）を緩めると、体幹パッドの左右位置、高さ、および角度を調整することができます。調整が終了したら、ノブを閉めなおしてください。

胸部パッド

胸部パッド前面のカバーをめくると、胸部パッドのストラップの長さを調整することができます。調整が終了したら、再度カバーを閉じてください。

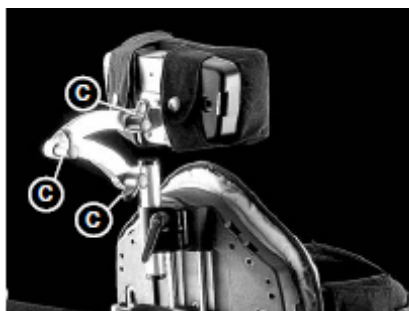
胸・肩・体幹ベルト

お子様をシートに乗せる前に、「胸・肩・体幹ベルト」の片側のショルダーストラップサイドクリップ、および骨盤ハーネス連結バックルをあらかじめ固定しておきます。お子様をシートに座らせたら、「胸・肩・体幹ベルト」をお子様の身体の前面に回し、反対側のサイドストラッ、ショルダーストラップおよび連結バックルを固定します。

全てのストラップはベルト前面のカバーをめくり、長さを調節することができます。ストラップの調整が終了したら、再度カバーをセットしてください。
※骨盤ハーネス連結バックルは、常に固定してください。「胸・肩・体幹ベルト」が上方に上がり、お子様の首を締め付けないようにする為です。

サンダルの調整

フットプレート裏側にあるノブ（B）を緩めると、サンダルの前後・左右の位置を調整することができます。調整が終了したら、再度締めなおしてください。付属のベルクロストラップで、サンダル内での足の位置を安定させることができます。
サンダルが必要ない場合でも、ベルクロストラップを使用して足部のポジショニングを行なうことができます。

ヘッドレスト

取付金具にある 3 つのハンドノブ（C）を緩めると、ヘッドサポートの高さ・奥行き・角度を調整することができます。調整が終了したら、再度締めなおしてください。
※調整の際に、取付金具に指を挟まないように、常に注意してください。

11　日常生活での調整について

お子様を介助されるご両親や関係者の方々は、製品トレーニングを受けた製作者により、日常生活における調整方法や、セクション 6 に記載されている安全な使用方法についてご説明を受けてください。

お子様の移乗（乗せ降ろし）にあたって

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書のセクション 13「製品の日常点検について」の内容をよくお読みになり、製品の安全性を確認してください。
移乗時は、まず座面の高さを移乗させやすい高さに調整します。さらに安定性を高めるため、全てのキャスターをフレームの外側に向けてロックしてください。移乗させ易いように、胸部ベルト、骨盤ハーネス中央のバックル、サンダルのストラップを外しておいてください。以上のことを確認した上で、お子様を移譲させてください。
お子様を乗せた後は、まず、必ず骨盤ハーネス中央のバックルを固定し、お子様が前方にずれ落ちないように調整してください。

骨盤ハーネスの調整
お子様のポジショニングと骨盤ハーネスの調整を適確に行なうことは、お子様の座位姿勢を保ち、快適性や、目的の動作に到達する能力を高めるための大切な要素です。
担当のセラピストに、姿勢を保つ為には骨盤ハーネスをどのくらい調整すればよいかを確認してください。
骨盤ハーネスの張りの強さは、中央のストラップ（A）を左右に引っ張ることで調節できます。左右のストラップ（B）を上方に引き、骨盤のポジションとヒップパッドの高さを調節することができます。

お子様が安全に座り、また前方に滑らないように、骨盤ハーネスを常に確認してください。

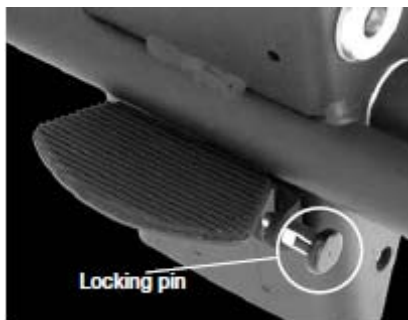
ベースフレーム
マイ　ゴーは、目的に応じて様々なベースフレームに取り付けられることができます。本取扱説明書は、ハイ・ローベースに取り付けた状態でのご説明となります。

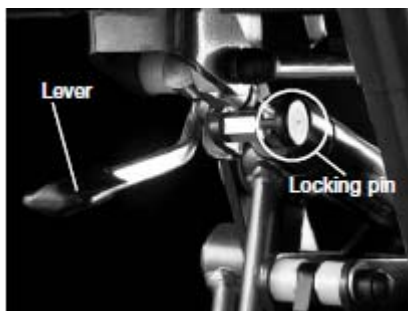
シートをベースフレームに取り付ける際は、フットペダルを踏んで、取付け易い高さに調整することをお勧めします。

高さ調整　ーハイ・ローベース

ハイ・ローベースは、お子様をシートに乗せたままで座面の高さを調整することが可能です。ハイ・ローベース後部にあるフットペダルを踏むと高さを調整することができます。高さ調整の際には、プッシュハンドルを握りながら調整を行なってください。ペダルから足を離すと、シートの移動が止まります。

ペダルの右側に、安全の為のロックピンが付いています。ロックを解除にするには、ピンを引き、90°回転させて、ピンが引いた状態になるようにしてください。この状態で、ペダルの操作（シートの高さ調整）が可能になります。ロックをかける際には、再度ピンを 90°回転させて、ピンが押し込まれた状態になるようにしてください。

不意にシートの高さが動かないように、シートの高さ調整をしない際には、ピンを常にロックしてください。

チルト角度調整

チルトの角度は、お子様をシートに乗せたままで調整することが可能です。お子様が不意にシートからずり落ちないように、チルトの角度を調整する前に、骨盤ハーネスが確実にしまっていることを確認してください。

レバーの右側に、安全の為のロックピンが付いています。ロックを解除にするには、ピンを引き、90°回転させて、ピンが引いた状態になるようにしてください。この状態で、レバーの操作（チルトの角度調整）が可能になります。ロックをかける際には、再度ピンを 90°回転させて、ピンが押し込まれた状態になるようにしてください。

不意にシートの角度が動いて、お子様が怪我をされないように、ロックピンは常にロックの状態にしておいてください。

チルトの角度調整の際には、プッシュバーを握って操作してください。

適正なチルト角度に関しては、担当のセラピストとご相談の上、お子様の気道を確保できるように調整してください。

12 製品のお手入れの方法について

汚れの拭き取り

汚れを拭き取る際には、ぬるま湯か研磨剤の入っていない中性洗剤の使用をお勧めします。有機性洗剤やドライクリーニング用の洗剤は使用しないで下さい。

カバー及び布地のお手入れについて

１． カバーやその他の布地の汚れは、拭き取りでのお手入れをお勧めします。この際は、ぬるま湯か研磨剤の入っていない中性洗剤をお勧めします。
２． 「拭き取り」＋「乾燥」が、おすすめのお手入れ方法です。
３． 汚れた場合は、吸水性の布やタオル、スポンジなどを使って、できるだけ早く拭き取ってください。手洗い用の石鹸をぬるま湯に溶かしたものをスポンジに含ませて拭くと、汚れが取れ易くなります。布地を濡らしすぎると、汚れが拡がる恐れがありますので、ご注意ください。
４． 特に汚れがひどい場合には、殺菌性のある石鹸をご利用ください。殺菌用アルコールなどもご利用いただけます。家庭用漂白剤を薄めたもの（コップ 1/2 に対して 5 リットルの水を加えたもの）なども、消毒剤としてご利用いただけます。
５． 「骨盤ハーネス」、「胸・肩・体幹ベルト」は 40℃以下のぬるま湯で、洗濯機で洗うことができます。洗濯機の内部を痛めないように、ボルト類やプラスチックバックルは取り外してから選択してください。取り外したパーツは、お子様の手に届かないところに保管してください。
６． お手入れの後は、完全に乾かしてからご利用を再開してください。

金属パーツ・プラスチックパーツのお手入れについて

１． 日常のお手入れには、水で薄めた石鹸、または抗菌性のスプレー洗浄剤などがご利用いただけます。
２． 汚れがひどい場合には、低圧の蒸気洗浄もご利用いただけます。
３． 溶剤を含んだものは使用しないで下さい。
４． お手入れの後は、完全に乾かしてからご利用を再開してください。

13 製品の日常点検について

(セラピスト、ご家族の方、および介助される方々)

本製品を日常で安全にご利用いただくために、セラピスト、ご家族の方、介助者の方々に、日常の機器の外観確認をお願いします。確認事項は

・調整用のボルトやレバーが外れておらず、所定の位置にあり、しっかり閉まっているか。
・カバーやベルクロがすり切れたり、破れたりしていないか。
・全てのキャスターは、自由に動き、また確実にロック（固定）できるか。
・プッシュバーやシートはベースフレームにしっかりと固定されているか。
・骨盤ハーネスは、お子様の骨盤をしっかりと固定していて、不意に身体が前方に滑るようなことはないか？
・フットプレートは確実に固定されているか？

本製品にのご使用に関して不安・不明な点があったり、またはパーツが破損・紛失した場合は、速やかに製品のご使用を中止し、製品を購入された販売店、またはオットーボック・ジャパンにご連絡ください。